

会告 I

第 63 回日本輸血・細胞治療学会総会のご案内 (第 4 報)

会 期：2015 年 (平成 27 年) 5 月 28 日 (木)～5 月 30 日 (土)

会 場：京王プラザホテル

総会長：田所 憲治 (日本赤十字社血液事業本部 中央血液研究所)

テーマ：輸血医学の高さと広がりを求めて

演題募集期間：2014 年 12 月 17 日 (水) に終了しました。多数のご応募ありがとうございました。

演題登録方法：下記の総会ホームページより

<http://www.jstmct.or.jp/jstmct63/>

主催事務局：日本赤十字社血液事業本部 中央血液研究所

〒135-8521 東京都江東区辰巳 2 丁目 1 番 67 号

TEL：03-5534-7500 FAX：03-5534-7516

企画運営事務局：東京医科大学八王子医療センター 輸血部

〒193-0998 東京都八王子市館町 1163 番地

TEL：042-665-5611 FAX：042-665-1796

当日運営事務局：株式会社メッド

〒701-0114 岡山県倉敷市松島 1075-3

TEL：086-463-5344 FAX：086-463-5345

E-mail：63jstmct@med-gakkai.org

学会本部事務局 (学会入会申込など)：

一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会 事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-14-14 ユニテビル 5 階

TEL：03-5804-2611 FAX：03-5804-2612

E-mail：63annual@jstmct.or.jp

第 63 回総会ホームページ：<http://www.jstmct.or.jp/jstmct63/>

プログラム (予定)

会長講演：日本の血液事業と血液の安全性

特別講演：激動の世界の中で

超少子高齢社会を見据えた医療改革

ヒトゲノム計画と輸血学

日本の医学教育の国際評価と今後の在り方

個別 NAT 導入と血液の安全性：到達点と課題

教育講演：血液型の研究の最近の進歩と血液検査の課題

チーム医療によるアルブミンの国内自給
E 型肝炎の現況
脂肪幹細胞由来血小板の産生

報告：病院血液管理システム標準化の報告

シンポジウム：再生医療法/細胞治療管理師制度と学会の関わり方

血液製剤の試験管内製造
体性幹細胞を利用した再生医療
適合血の選択と因子指定血の在り方
造血幹細胞移植とその支援体制
TACO/TRALI の診断基準とリスク因子
チーム医療としての PBM—各職種の役割と活動—
合同輸血療法委員会のこれからの展開
少子高齢化と血液の確保、有効利用
看護師の安全な輸血への取り組み
血小板輸血をめぐる諸問題
全自己フィブリン糊の臨床応用

ワークショップ：自己血輸血

血小板・顆粒球

セミナー：こんな時どうする-3/臨床技師会リフレッシュコース

造血幹細胞移植にかかる調整検査の技術講習会第 4 回
認定臨床輸血看護師のブラッシュアップ
I & A の今後

その他：一般演題（口演/ポスター）

共催セミナー 17 セッション